年間授業計画

大泉桜　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　5 組

教科担当者：（1組a：大原　）　（1組b：岡田　）　（2組a.b：久保田　）（3組：瀬戸口　）　（3.4組：吉村　）　（5組：吉村　　）

使用教科書：（ 高校生の美術Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【思考力、判断力、表現力等】 下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【学びに向かう力、人間性等】 下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現する楽しさや喜びを味わい、技法の名称や材料や用具の使い方、鑑賞の方法などを理解するとともに、表現に応じた技能で作品を制作することができるようにする。	表現・鑑賞における自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて制作の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	制作に自主的に取り組むとともに、新たな見方や考え方を大切にしようとする。自分の感じ方や価値観に自覚的になるとともに、一人一人の違いや思いを尊重し、互いに学び合おうとする姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	●自画像 【知識及び技能】 ・基礎的な鉛筆の使い方を学ぶ ・デッサンの基本的な製作過程を理解する ・自分の顔、頭部をモチーフとして、普段見慣れたものを見つめなおす ・有機的な形のつながりや、自然な質感を捉える 【思考力、判断力、表現力等】 美術Ⅰの目標に準ずる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術Ⅰの目標に準ずる。	・鉛筆の削り方、持ち方 ・構図 ・陰影表現 ・形体表現 ・質感表現 ・一人１台端末の活用　等	○				次の事項を評価規準とし、獲得状況に応じ採点を行う。 【知識及び技能】 知識では、素描において用いられる技法や用具の名称や使い方を理解できる。 技能では、鉛筆を用いて素描表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の制作における課題や、課題の解決に有効な技法等の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に自主的に取り組み、自身や他者の感じ方や考え方を大切にしながら、互いに学び合おうとできる。学習成果を踏まえて、生涯にわたり美術を愛好する姿勢を身に着けることが出来る。	○	○	○	14
	●ロゴデザイン 【知識及び技能】 ・基礎的なデザインの考え方を学ぶ ・デザインの基本的な製作過程を理解する ・レタリング技法を用いて文字の形を描画できる ・基礎的な色彩のイメージや配色の効果について学ぶ ・アクリル絵の具の平塗り技法を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 美術Ⅰの目標に準ずる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術Ⅰの目標に準ずる。	・デザインの目的 ・レタリング技法 ・アクリル絵の具の混色・塗り ・構図 ・色彩イメージ、配色 ・一人１台端末の活用　等		○			次の事項を評価規準とし、獲得状況に応じ採点を行う。 【知識及び技能】 知識では、デザインにおける基本的な考え方や、レタリング技法について理解できる。技能では、レタリング技法とアクリル絵の具の平塗り技法を用いてロゴデザインができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の制作における課題や、課題解決に有効な技法等の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に自主的に取り組み、自身や他者の感じ方や考え方を大切にしながら、互いに学び合おうとできる。学習成果を踏まえて、生涯にわたり美術を愛好する姿勢を身に着けることが出来る。	○	○	○	14
2学期	●絵画模写 【知識及び技能】 ・基礎的な絵画の歴史、捉え方を学ぶ ・絵画作品の基本的な製作過程を理解する ・アクリル絵の具を用いて絵画作品を模写できる ・絵の具による陰影や形体、質感の表現を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 美術Ⅰの目標に準ずる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術Ⅰの目標に準ずる。	・絵画表現 （絵の具による陰影や形体、質感の表現） ・絵画鑑賞 ・構図 ・一人１台端末の活用　等	○			○	次の事項を評価規準とし、獲得状況に応じ採点を行う。 【知識及び技能】 知識では、絵画分野における構図や技法、用具の名称や使い方を理解できる. 技能では、アクリル絵の具等を用いて絵画表現（模写する絵画のタッチや色彩の再現）ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の制作における課題や、課題解決に有効な技法等の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に自主的に取り組み、自身や他者の感じ方や考え方を大切にしながら、互いに学び合おうとできる。学習成果を踏まえて、生涯にわたり美術を愛好する姿勢を身に着けることが出来る。	○	○	○	14
	●キャラクターデザイン 【知識及び技能】 ・デザインのもたらす効果について学ぶ ・キャラクターの基本的な製作過程を理解する ・石粉粘土を用いて粘土塑像できる 【思考力、判断力、表現力等】 美術Ⅰの目標に準ずる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術Ⅰの目標に準ずる。	・デザインがもたらす効果 ・デフォルメ ・立体造形（粘土塑像） ・一人１台端末の活用　等	○	○			次の事項を評価規準とし、獲得状況に応じ採点を行う。 【知識及び技能】 知識では、デザインがもたらす効果や、それらの使い方を理解できる。 技能では、オリジナルのキャラクターをデザインし、石粉粘土で立体表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の制作における課題や、課題解決に有効な技法等の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に自主的に取り組み、自身や他者の感じ方や考え方を大切にしながら、互いに学び合おうとできる。学習成果を踏まえて、生涯にわたり美術を愛好する姿勢を身に着けることが出来る。	○	○	○	16
3学期	●絵本製作 【知識及び技能】 ・ストーリー性のある絵画表現について、わかりやすく、効果的な画面構成を考える ・描画技法についてはそのいくつかを試し、伝えたいイメージに合ったものを選択できるようにする ・一つのまとまりのある作品として制作する 【思考力、判断力、表現力等】 美術Ⅰの目標に準ずる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術Ⅰの目標に準ずる。	・画面構成 ・テーマに合った表現 ・一人１台端末の活用　等	○				次の事項を評価規準とし、獲得状況に応じ採点を行う。 【知識及び技能】 知識では、絵本製作における内容構成や技法、用具の名称や使い方を理解できる。技能では、テーマに沿って画面を構成し、アクリル絵の具等を用いて自身が狙った表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の制作における課題や、課題解決に有効な技法等の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に自主的に取り組み、自身や他者の感じ方や考え方を大切にしながら、互いに学び合おうとできる。学習成果を踏まえて、生涯にわたり美術を愛好する姿勢を身に着けることが出来る。	○	○	○	12
											合計
											70